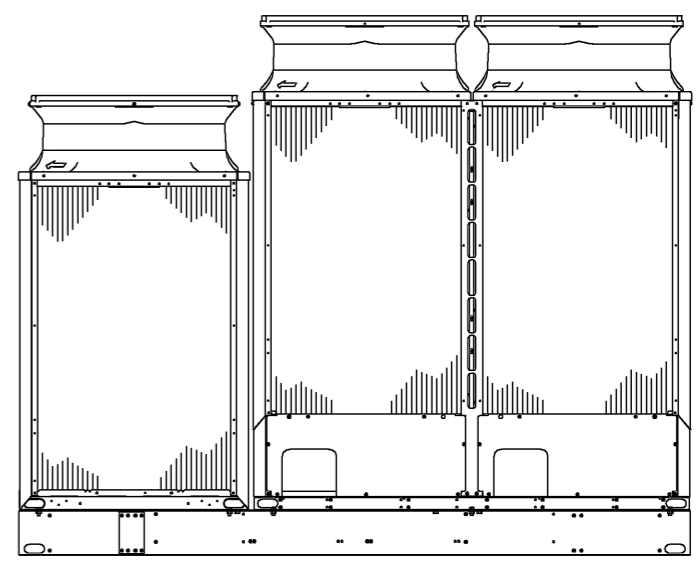
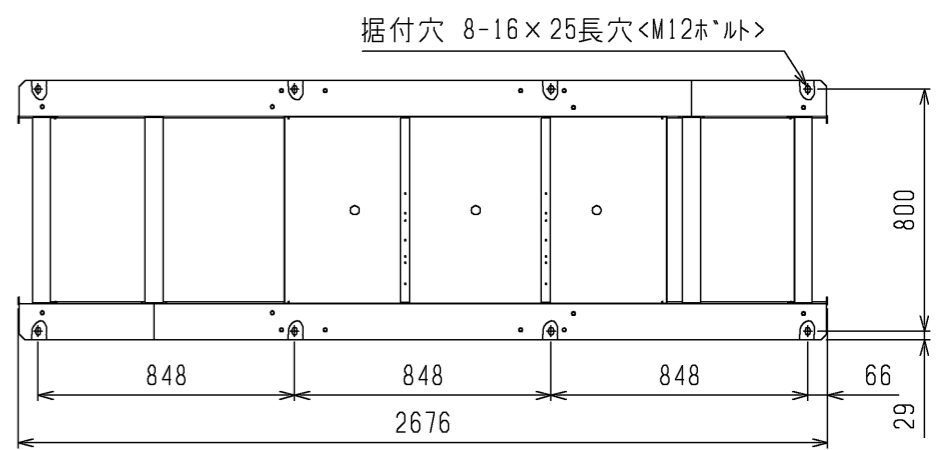


注1. 配管は、ユニットの運転条件や配管形状・長さ・支持方法によっては
 圧力脈動により振動が大きくなる場合があります。
 試運転時に振動が大きい場合、支持方法(支持間隔・固定方法など)
 を変更し、振動しないようにしてください。
 また、支持金具を建物や天井に取付ける場合、配管の振動が建物に
 伝わらないように適切な防振を行ってください。
 2. 背面フィンガードは別売部品でご用意しております。



1. 据付ピッチ

本製品の据付ピッチは下図のとおりです。
 なお、振動が据付部から伝搬し床・壁面から騒音や振動が発生する
 場合がありますので、必要に応じ十分な防振工事を行ってください。



2. 配管・配線取入方向

配管接続は前面、右下面の2方向から取入れできます。
 配線接続は前面、右下面の2方向から取入れできます。

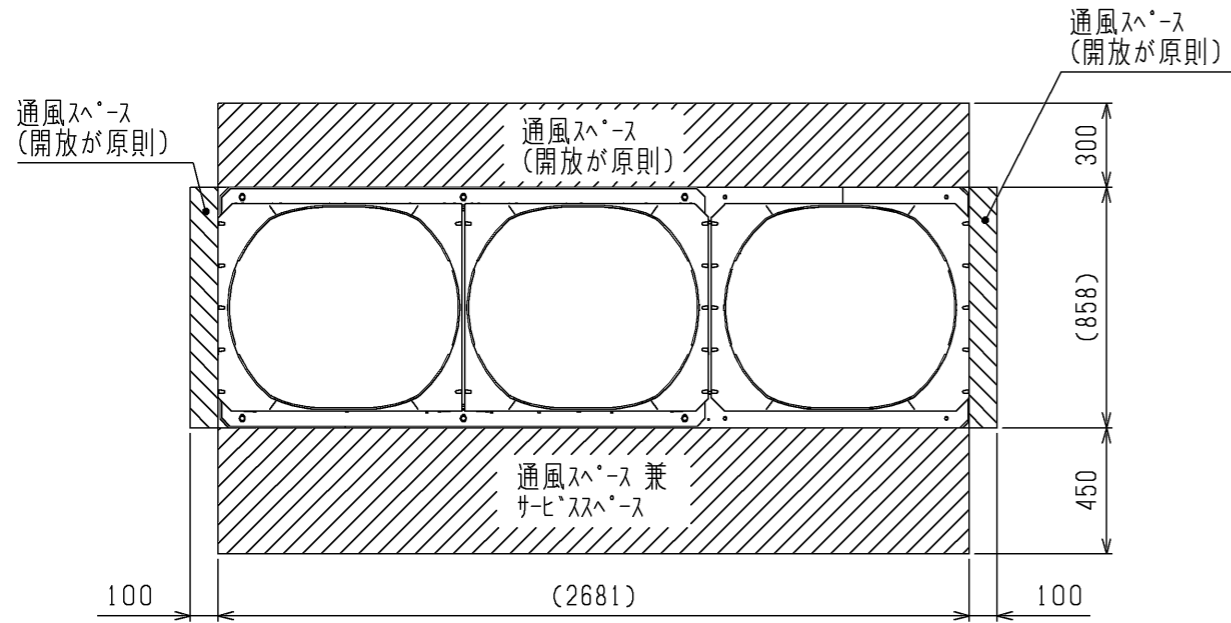
配管通し穴
 兼、配線通し穴

注. 製品の仕様は改良のため、予告なく変更する場合があります。

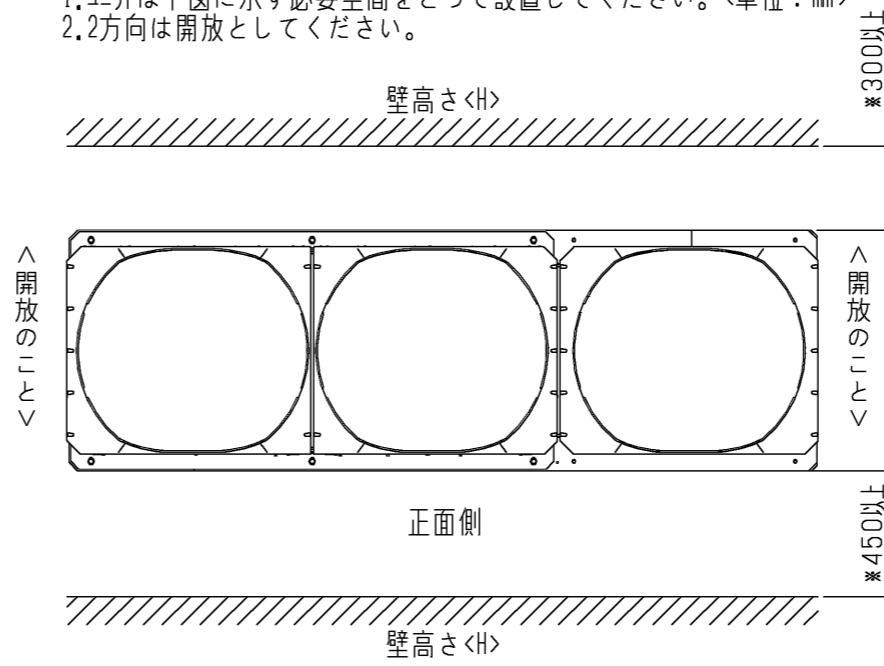
	作成日付 ISSUED	改定日付 REVISED	TITLE 一体空冷式インバータスクロール形 コンデンシングユニット(ホットガスアシスト装置付き)外形図 ECO-V-EN225C1-HG(-BS,-BSG)		
	DIM. mm	18-05-15	19-10-08	DRW.NO.	REV. PAGE
SCALE NTS	三菱電機株式会社			W KV94G825	A 1/2

3. ユニット周囲の必要空間

● 必要空間の基本

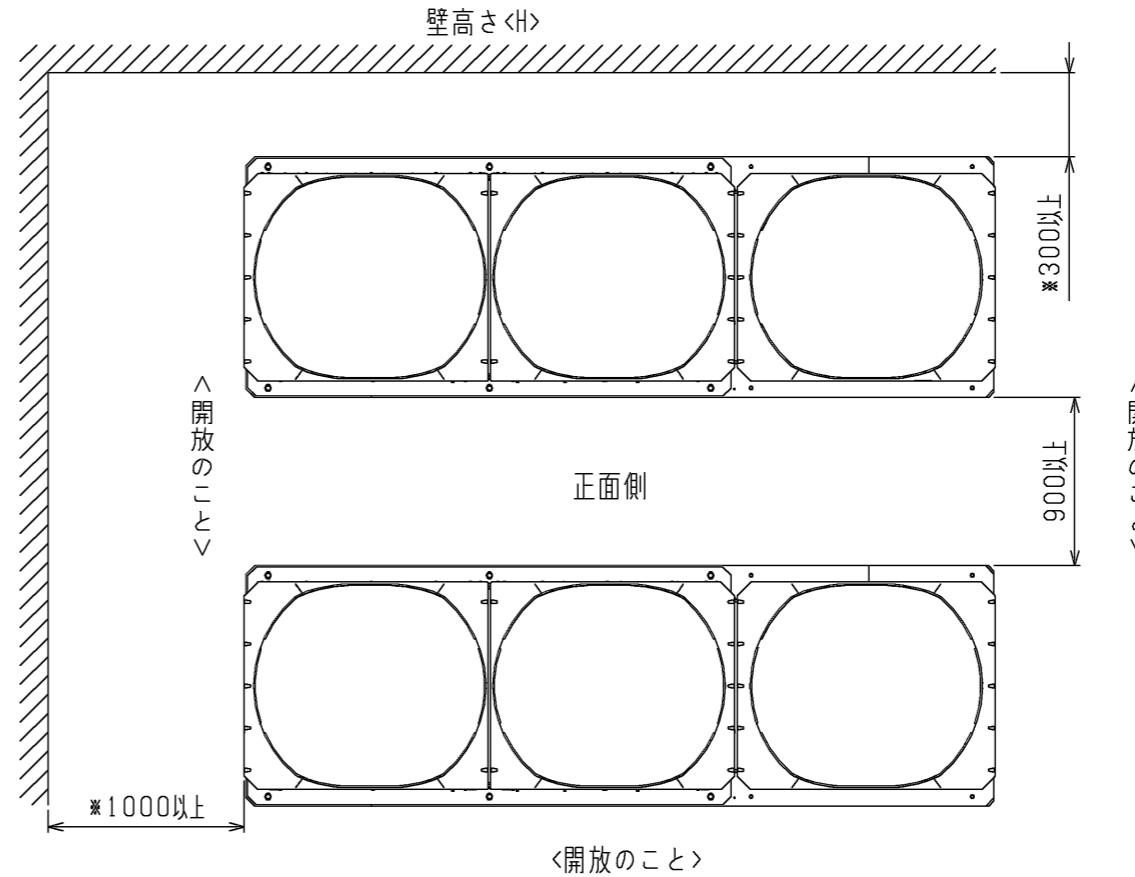
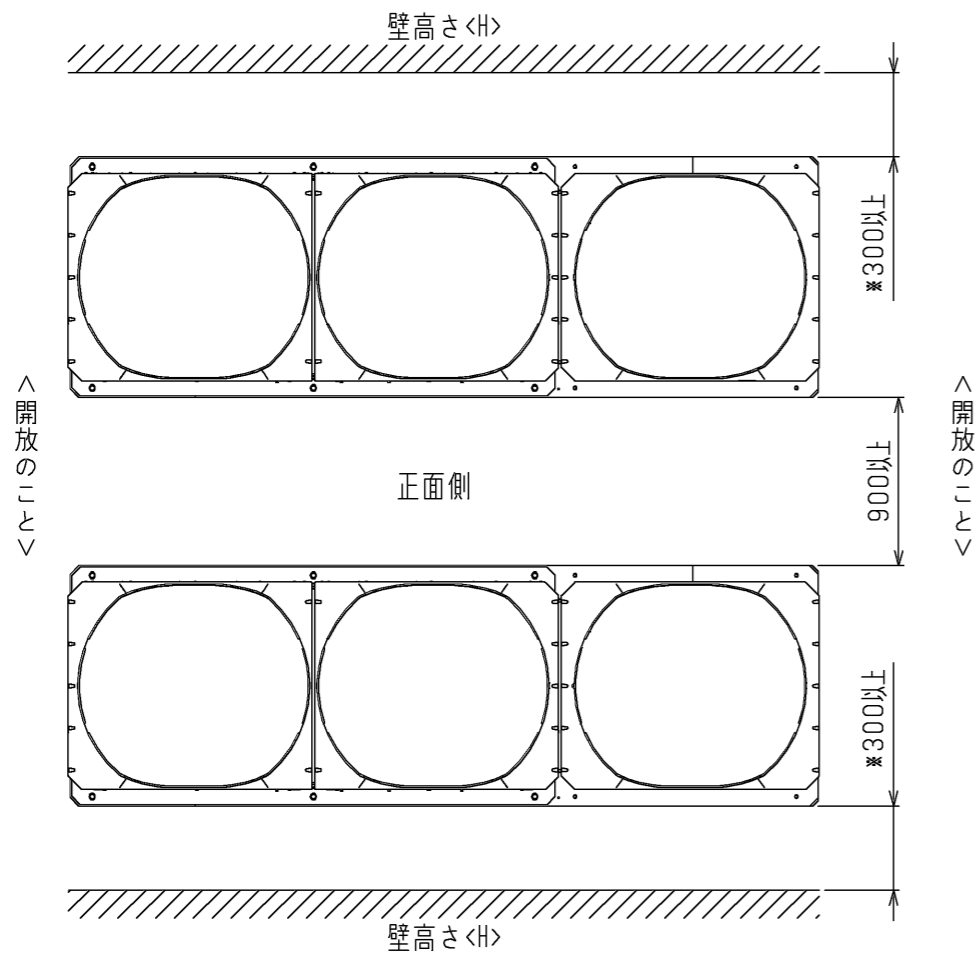
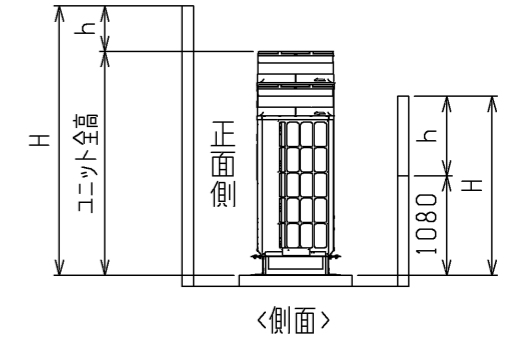


- 周囲に壁がある場合、集中設置・連続設置の場合
- 1. ユニットは下図に示す必要空間をとって設置してください。〈単位：mm〉
- 2. 2方向は開放としてください。



前後、側面の壁高さHが、下記〈壁高さ制約〉を超える場合〈壁高さ制約〉を超えた分の寸法hを図中にある※印の寸法に加算してください。

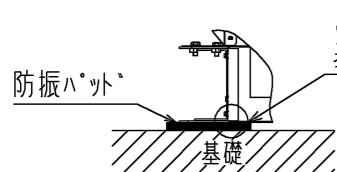
〈壁高さ制約〉
 正面：ユニットの全高以下
 後面：ユニット底面から1080mm以下
 側面：ユニットの全高以下



4. 基礎工事

1. 基礎施工に際しては、床面強度・雨水処理・配管・配線の経路に十分留意してください。
2. M12ボルトの据付ボルトでユニット据付足を8箇所強固に固定してください。〈据付ボルト、座金、ナットなどは現地手配です。〉

3. 配管・配線取出し部は、小動物の侵入や台風などの雨水が吹き込み、機器損傷の原因となりますので、開口部は閉鎖材等（現地手配）で必ず塞いでください。

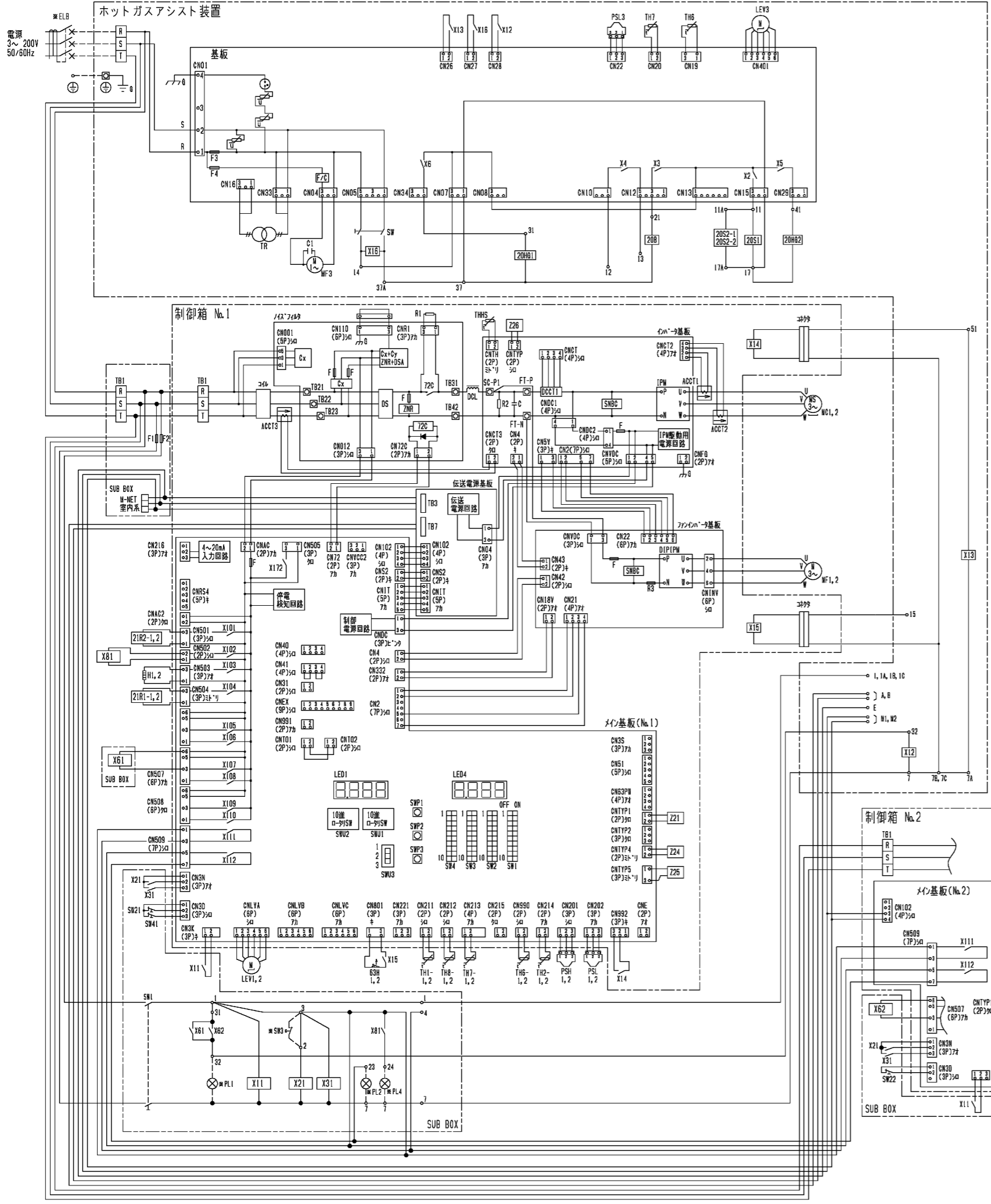


この部分に防振パット、および基礎がくるように据付けること

防振パットの大きさは使用する穴によって異なります。
 150×150以上〈推奨品 フリテック製 IP-1003〉

注. 製品の仕様は改良のため、予告なく変更する場合があります。

	作成日付 ISSUED	改定日付 REVISED	TITLE 一体空冷式インバータスクロール形 コンデンシングユニット(ホットガスアシスト装置付き)外形図
DIM. mm	18-05-15	19-10-08	ECO-V-EN225C1-HG(-BS,-BSG)
SCALE NTS	三菱電機株式会社		DRW.NO. W KV94G825
		REV. A	PAGE 2/2



- 注1. ※印の機器は、現地手配となります。
 2. ---線は、現地配線となります。また回路は、1つ1つの回路方式の場合を示します。
 3. 端子23-7、4-7の間に回路を接続する場合は、0.45Aを超えないようにしてください。
 4. 接点の矢印は、圧力・温度が上昇した時の接点動作方向を示します。
 5. SW3はモータ別動作の押しボタンスイッチ限定です。モータ別動作スイッチを離すとON状態に戻るスイッチSW3を取付ける場合は、2~3箇の配線は必ず取外してください。
 6. PL1は端子32-7の間に接続すると、圧縮機のON/OFFに連動して表示灯が点灯します。
 7. 基板異常時の応急処置については、工事説明書を参照願います。
 8. 制御箱No.2の配線図は、図に示す部位以外は制御箱No.1と同じです。

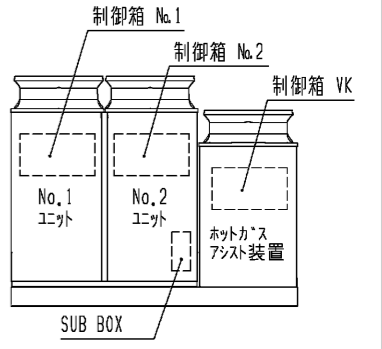
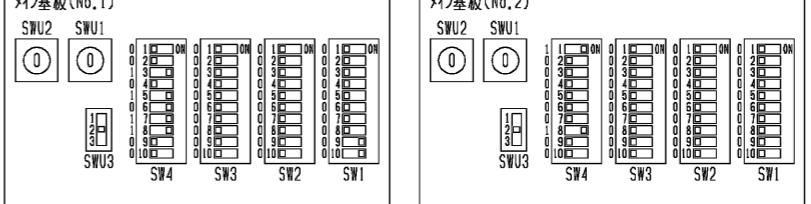
記号	名称	記号	名称	記号	名称	記号	名称
ACCT1	電流センサ	LEV1, 2	電子膨張弁<No.1, 2インジケーション>	TH1-1, 2	サーミスタ<No.1, 2吐出管温度>	Z21	抵抗
ACCT2	電流センサ	LEV3	電子膨張弁<ホットガス装置>	TH2-1, 2	サーミスタ<No.1, 2圧縮機オイル温度>	Z24	抵抗
ACCT3	電流センサ	MC1, 2	圧縮機用電動機<No.1, 2>	TH6	サーミスタ<ホットガス装置外気温度>	Z25	抵抗
C	コンデンサ<電解>	MF1, 2	送風機用電動機<No.1, 2>	TH6-1, 2	サーミスタ<No.1, 2外気温度>	Z26	抵抗
C1	コンデンサ<送風機用電動機>	MF3	送風機用電動機<ホットガス装置>	TH7	サーミスタ<ホットガス装置出口温度>	Z08	電磁弁<ホットガス装置用>
DCL	直流リレール	PSH1, 2	高圧圧力センサ<No.1, 2吐出>	TH7-1, 2	サーミスタ<No.1, 2吸入管温度>	Z0H1, 2	電磁弁<ホットガス>
DCC1	電流センサ<直流電流>	PSL1, 2	低圧圧力センサ<No.1, 2吸入>	TH8-1, 2	サーミスタ<No.1, 2液管温度>	Z0S1	電磁弁<冷却>
DS	タイマー<スタック>	PSL3	低圧圧力センサ<ホットガス装置出口>	X2~X6	補助電磁器<ホットガス装置基板内>	Z0S2-1, 2	電磁弁<冷却>
F1	ヒューズ<制御回路:6A>	R1	抵抗<突入電流防止>	X11~X16	補助電磁器	Z1R1-1, 2	電磁弁<No.1, 2インジケーション>
F2	ヒューズ<制御回路:6A>	SW	スイッチ<電源>	X21	補助電磁器	Z1R2-1, 2	電磁弁<No.1, 2インジ>
F3	ヒューズ<制御回路:6.3A>	SW1	スイッチ<運転-停止>	X31	補助電磁器	Z6H1, 2	高圧圧力開閉器<No.1, 2吐出>
F4	ヒューズ<送風機:15A>	SW21	スイッチ<No.1ユニット個別運転>	X61, 62	補助電磁器	Z7C	電磁接触器<インバータ主回路>
G	クラフト	SW22	スイッチ<No.2ユニット個別運転>	X81	補助電磁器		
H1, 2	電熱器<No.1, 2オイル>	SW41	スイッチ<通常-固定>	X101~112	補助電磁器<メイン基板内>		
IPM	インテリジェントパワーモジュール	THHS	サーミスタ<インバータ放熱板温度>	X172	補助電磁器<メイン基板内>		

※ELB	漏電遮断器	※PL4	表示灯<アラーム7カ>
※PL1	表示灯<運転・ミリ>	※SW3	スイッチ<異常リセット>
※PL2	表示灯<異常7カ>		

9. X101, X102, X103, X104, X107, X111, X112はメイン基板の出力接点を示し、動作は下表のとおりです。
- | | |
|------------|---|
| X101 | 圧縮機が起動時、運転周波数が30HzになるまではON、左記以外はOFF |
| X102 | アラーム検知時はON、その他OFF、ただし工場出荷時、検知時もOFFのアラームあり。詳細は据付工事説明書を参照のこと。 |
| X103 | 圧縮機が停止時はON、圧縮機が運転時はOFF |
| X104, X107 | 圧縮機が運転時はON、圧縮機が停止時はOFF |
| X111 | ユニットが正常時(運転可能)時はON、ユニットが異常時(運転不可)時はOFF |
| X112 | ユニットが異常時(運転不可)時はON、ユニットが正常時(運転可能)時はOFF |

10. X2, X3, X4, X5, X6はホットガス装置の出力接点を示し、動作は下表のとおりです。
- | | |
|--------|--------------------|
| X2 | 冷却運転時にON、霜取運転時にOFF |
| X3, X6 | 霜取運転時にON、冷却運転時にOFF |
| X5 | 霜取運転終了時のみON |
| X4 | ユニットが異常時にON |

11. デモアップスイッチ・ロータリスイッチ・スライドスイッチの出荷時設定は下図のとおりです。



注. 製品の仕様は改良などのため、予告なく変更する場合があります。

作成日付 ISSUED	改定日付 REVISED	三菱電機株式会社 一体空冷式インバータスクロール形 コンデンシングユニット(ホットガスアシスト機能付き)電気配線図 ECO-V-EN225C1-HG(-BS, -BSG)
DIM. mm	19-03-25	21-03-09
SCALE NTS	三菱電機株式会社	DRW.NO. WKN94N762
	REV. A	PAGE 1/1

耐(重)塩害仕様書

◆適用: この仕様書は、次の環境汚染地域にコンデンシングユニット(ホットガスアシスト装置付き)を据え付ける場合に適用します。

1. 適用機種

A) 耐塩害仕様

ECOV-EN225C1-HG-BS

B) 耐重塩害仕様

ECOV-EN225C1-HG-BSG

2. 適用環境

A) 耐塩害仕様

潮風には当たらないがその雰囲気にあるような場所。

■具体的には

- ① 室外機が雨で洗われる場所。
- ② 潮風の当たらないところ。
- ③ 室外機の設置場所から海までの距離が約300mを超え1km以内。
- ④ 室外機が建物の影になる場所。

B) 耐重塩害仕様

潮風の影響を受ける場所。ただし、塩分を含んだ水が直接機器にはかからないものとする。

■具体的には

- ① 室外機に雨があまりかからない場所。
- ② 潮風が直接当たるところ。
- ③ 室外機の設置場所から海までの距離が約300m以内。
- ④ 室外機が建物の表(海岸面)になる場所。
- ⑤ 室外機設置場所のトタン屋根、ベランダの鉄製部の塗り替えが多い場所。

●海岸からの設置距離目安(設置環境により条件が変わります。)

① 直接潮風が当たるところ

	設置距離目安			備考
	300m	500m	1km	
① 内海に面する地域	耐重塩害	耐塩害	—	瀬戸内海
② 外洋に面する地域	耐重塩害		耐塩害	
③ 沖縄、離島		耐重塩害		

② 直接潮風が当たらないところ

	設置距離目安			備考
	300m	500m	1km	
① 内海に面する地域	耐塩害		—	瀬戸内海
② 外洋に面する地域	耐重塩害		耐塩害	
③ 沖縄、離島		耐重塩害	耐塩害	

◆留意事項

防蝕・耐塩害仕様機を使用した場合でも腐食・発錆に対して万全でなく、ユニットの設置やメンテナンスに対し、次の事項に留意願います。

1. 海水飛沫および潮風に直接さらされる場所に設置しないでください。
2. 室外機外装パネルに付着した塩分等の雨水による洗浄効果を損なわないように日除け等は取り付けしないでください。
3. 室外機ベース内への水の滞留は、著しく腐食作用を促進させるため、ベース内の水抜け性を損なわないように水平に据付け願います。
4. 特に、海岸地帯への据付品については、付着した塩分等を除去するために定期的に水洗いを行ってください。
5. 据付時・メンテナンス時に付いた傷は、補修をしてください。
6. 機器の状態を定期的に点検してください。
(必要に応じて再防錆処理や、部品交換等を実施してください。)

三菱電機株式会社

◆仕様一覧

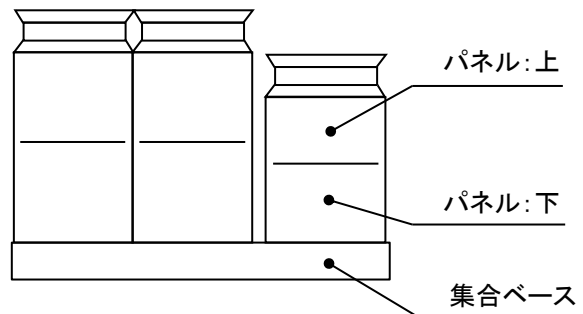
部品番号	部品名	素 材	標 準	耐 塩 害	耐 重 塩 害	表面処理・部品仕様
1	台枠(集合ベース含む)	合金化溶融亜鉛メッキ鋼板	○			ポリエステル粉体塗装(1C1B)※1
				○	○	ポリエステル粉体塗装(1C1B)※2
2	外装板金(正面中央柱/正面パネル:下) (側面パネル:下)	合金化溶融亜鉛メッキ鋼板	○			ポリエステル粉体塗装(1C1B)※1
				○	○	ポリエステル粉体塗装(1C1B)※2
3	外装板金(正面パネル:上)	塗装鋼板	○			-
				○	○	ポリエステル粉体塗装(1C1B)※1 ポリエステル粉体塗装(1C1B)※2
4	外装板金(側面パネル:上)	合金化溶融亜鉛メッキ鋼板	○			ポリエステル粉体塗装(1C1B)※1
				○	○	ポリエステル粉体塗装(1C1B)※2
5	外装板金(背面中央柱/背面パネル:下)	アルミ-亜鉛合金メッキ鋼板	○			-
		合金化溶融亜鉛メッキ鋼板		○	○	ポリエステル粉体塗装(1C1B)※1 ポリエステル粉体塗装(1C1B)※2
6	内装板金(基本)	溶融亜鉛メッキ鋼板	○			-
		アルミ-亜鉛合金メッキ鋼板		○		-
		合金化溶融亜鉛メッキ鋼板			○	ポリエステル粉体塗装(1C1B)※2
7	モータ取付板	溶融亜鉛メッキ鋼板	○			-
		合金化溶融亜鉛メッキ鋼板		○	○	ポリエステル粉体塗装(1C1B)※2
8	制御箱板金(メイン)	溶融亜鉛メッキ鋼板	○			-
		アルミ-亜鉛合金メッキ鋼板		○	○	ポリエステル粉体塗装(1C1B)※2
9	制御箱板金(サブBOX)	溶融亜鉛メッキ鋼板	○			-
		アルミ-亜鉛合金メッキ鋼板		○		-
		合金化溶融亜鉛メッキ鋼板			○	ポリエステル粉体塗装(1C1B)※2
10	熱交換器	アルミニウム板	○			-
				○	○	プレコートフィンMC-11(青色)
11	受液器	-	○	○		エポキシ樹脂エナメル塗装(1C1B)
					○	ポリウレタン樹脂塗装(3C)
12	アキュムレータ・オイルセパレータ オイルレギュレータ	-	○			アルキド樹脂浸漬塗装(1C1B)
				○	○	ポリウレタン樹脂塗装(3C)
13	表示銘板	-	○			-
				○		「JRA耐塩害仕様品」
					○	「JRA耐重塩害仕様品」

その他の部品仕様は標準と同じです。
機種により一部仕様の異なる場合があります。
仕様は製品改良のため予告なしに変更する場合があります。

<塗装記号説明>

- ※1 : 標準外装塗装仕様基準
- ※2 : JRA耐塩害仕様基準に適合

- 1C1B : 一回塗料塗布・一回焼き付け乾燥
- 3C : 三回塗料塗布・常温乾燥



◆準拠基準:「空調機器の耐塩害試験基準(JRA9002-1991)」: JRA(社団法人日本冷凍空調工業会)制定

WAN65-2084